岩神地区

地区のすがた

岩神地区では「支え合える地域」を目指し、基盤である交流の活動「ふれあい・いきいきサロン」を全町で実施、活動の充実に取り組んでいます。高齢者だけが交流を深めるのではなく、より共生的な居場所で、様々な世代が活躍できるようにしていきたいと考えています。そのためにも、活動を周知し、研修等を通して福祉の意識を広げ、多くの住民を巻き込んで地域福祉の充実を図ります。

小・中学校との連携に力を入れています。三中生徒は大変協力的で良い子ばかり！

研修会で町ごとに分かれてワークショップを体験。町の事を見つめ直す良いきっかけになりました。

地区の魅力

- 利根川や敷島公園があり、自然が豊か
- 前橋医師会や歯科医師会があり、医療機関が多い
- 昔からの街並みが残り、レトロな景観が良い
- 競技場でのスポーツ、花火大会など催しが多い

地区の課題

- 公共交通機関が使いにくい、交通が不便
- 地域の担い手が全体的に高齢化している
- 高齢者が退去した住居が空き家となっている
- 高齢者が買い物に出かけにくい不便な場所が多い

取り組むこと

- 高齢者だけでなく、若い世代や転居者、外国人との共生の意識を高める
- 災害に備え、日頃の地域における繋がりを強める
- 地域課題の解決へ主体的に取り組めるような地域づくりを行う

目指す地域の将来像

- 地域の誰もが通える居場所が町にある、またその活動等で地域内の空き家を活用している
- 様々な世代の人が、担い手として地域活動に主体的に参加している

敷島地区

地区のすがた

住民に向けて公民館を開放する活動がスタート。テレビや塗り絵をする人。麻雀もできます。

「ふれあいの広場」では、三中の生徒さんが大活躍しています。

敷島地区は、多様な主体(事業所・法人・施設・企業)と協力しながら多世代の交流を深め、より繋がりの強い地域を目指して活動をしています。地域づくり協議会とも連携しながら、地域福祉の推進を図り、様々な側面から福祉のまちづくりに取り組んでいます。

地区の魅力

- 昔から長く住んでいる人が多く、住民の結束力が強い
- 群大附属病院をはじめ、医療機関や福祉施設が多い
- 地区内にスーパーやデパートがあり、買い物に困らない
- サロンを全町で実施し、個人で集まる場も多い

地区の課題

- 既存のコミュニティに転居者が馴染みにくい
- 担い手の高齢化率が高く、今後の地域活動の見直しが必要
- 外へ出かけられない高齢者への支援策が少ない
- 新しく家が建つ区画がある一方、空き家が多い区画もある

取り組むこと

- 昔から地区に住む住民と新たな住民の交流を深める(若い人が住みやすい町づくりをしていく)
- 高齢者が活躍できる場をつくる(得意なことを生かしたボランティア活動)
- 地域を活性化させるような空き家の活用

目指す地域の将来像

若い人も、高齢者も、様々な世代が一緒になって
主体的に地域活動へ取り組む“つながる地域”になってほしい

若宮地区

地区のすがた

若宮地区では、地域と群馬大学看護学科の学生が連携した取り組みを実施しています。大学生による高齢者宅の自宅訪問やサロンの企画、意見交換会を通して、地域の高齢者が抱える課題を改めて考える機会となっています。
また、保健推進員を中心に月１回実施している「元気会」は地区内全7自治会の高齢者が交流する貴重な場として、毎回多くの参加者でにぎわっています。

佐久間川周辺は製糸産業の中心地で、昔は商店街もにぎわっていました。水利を活かした「マス釣り大会」は大盛況。

住民同士がお喋りしながら、楽しくプランター植花！植花後は公民館などに飾ります。

地区の魅力

・佐久間川を活かした、交流を図りながらの環境づくり活動
・群馬大学看護学科の学生との連携（個別訪問やサロン参加、意見交換）した、高齢者の課題の把握と解決に向けた取り組み

地区の課題

・高齢化が進んでいる
・地域の担い手が減少している
・地域行事への参加者が固定している

取り組むこと

・住民のニーズを把握し、より多くの人が地域行事へ参加できるような環境づくりを目指す

・ご近所同士で見守り、支え合い、ここに住んでいてよかったと感じられる地区を目指す

目指す地域の将来像

住民の居場所づくりや顔見知りの関係づくりに取り組み、
誰もが安心して暮らせるまち

城東地区

地区のすがた

城東地区は城東町５自治会と日吉町３自治会の８自治会で構成されており、地区内にはベイシア文化ホール（県民会館）、県立図書館、市総合福祉会館、市商工会議所や中央郵便局などの公共施設が点在している生活に便利な地域です。地域のイベントでは笑顔が溢れ、三世代が交流できるハイキング等のイベントも開催されています。

特殊詐欺についての防犯講座を実施。悪質な詐欺には、もう引っかからないぞ！

サロンの開始前にはウォーミングアップの輪投げ。
点数をみんなで数えて、全身を使って真剣勝負。

地区の魅力

・市中心部に近く、公園や道路が整備されている
・大型商業施設が２店舗、スーパーやコンビニ等が多く、買い物に便利な地域
・自治会活動が活発で、行事等が盛んに実施される

地区の課題

・地区内の一人暮らし高齢者の増加
・一人暮らし高齢者の生活を見守る仕組みが少ない
・自治会活動等の担い手の高齢化

取り組むこと

・育成会、青年会、老人会など地縁団体の担い手確保

・「ふれあい会食会」や「ふれあい・いきいきサロン」等による交流活動の活発化

・効果的な見守り活動の実施

目指す地域の将来像

・自治会活動等を通して、住民同士が気軽に交流し支えあえるまち
・多くの住民が地域活動に担い手として参加するまち
・誰もが住みよい福祉のまち

中部地区

地区のすがた

中部地区は前橋市の中心市街地に位置し、中央地区と桃井地区の１４の自治会で構成されています。官公庁やマンションが建ち並ぶほか、商店街、大型施設、またケヤキ並木などに恵まれ、住みやすい地区です。前橋市の文化の中心であり、初市、七夕まつり、前橋まつりなどの各種イベントが行われています。各町では、サロン活動が活発です。地区内にある大学の学生がサロンに遊びに来てくれることもあります。

公民館の隣にある生命保険会社の協力により、サロンで健康チェックを実施しました。

年に一度の元気フェスティバル。子どもから大人まで、みんなで楽しい一日を過ごします。

地区の魅力

・前橋市の中心市街地
・前橋市の文化の発信地
・交通網の中心でありアクセス良好
・年間通して多くの行事開催

地区の課題

・自治会活動にかかわる人の固定化と高齢化
・担い手と後継者の不足
・商店街の活性化
・外国人労働者や留学生の増加に対応したまちづくり

取り組むこと

・まちの活性化
・世代間交流の推進
・健康づくり

目指す地域の将来像

・前橋市の中心また玄関口として、中心商店街をはじめとするまちの活性化を目指します。
・世代や新旧にとらわれない新たな交流の機会を充実し、見守りや支え合い活動へとつなげていきます。

文京地区

地区のすがた

文京地区では、地域づくり協議会および各組織が連携した様々な地域活動が活発に行われています。おやこ食育教室や男性料理教室、認知症予防クッキングの開催による食育の場や、しめ縄づくりや昔遊びを通した世代間交流の場を提供しています。

地区内には学校や教育施設も充実しており、今後も地域の連携をより深めることで、様々な活動を展開していきたいと考えています。

文京地区社協主催
「生きがい塾」

様々な分野の講師を招き、楽しく学ぶ場となっています。

子育てサロン「ぽかぽか」はママたちの交流の場として大好評です！

地区の魅力

・様々なことを学べる「生きがい塾」を実施
・各種団体が協力し、多種多様な活動を実施
・子どもたちの集う場を提供
（子育てサロン、「少年の日」事業、天川小土曜ひろば）

地区の課題

・男性の社会参加が少ない
・地域の担い手や行事参加者の減少
・世代間交流の場の減少

取り組むこと

・住民が誰でも気軽に集まれる居場所づくり
・世代間交流の場の提供
・あいさつを中心とした顔見知りの関係づくりと見守り活動
・ご近所同士で支え合う”お互い様”の関係づくり

目指す地域の将来像

「向こう三軒両隣」をモットーに
住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり

中川地区

地区のすがた

中川地区は様々な店舗や施設に恵まれている一方、高齢化率が非常に高い地域です。昔から地域活動が活発であり、現在も各自治会で多様な活動や催しに取り組んでいます。前橋生涯活躍のまち(CCRC)構想が進んでおり、さらなる地域活動の活性化が期待されています。

地区社協にて会議を開催、地域課題や課題解決の仕組みづくりについて研修を実施しています。

男性もサロンに参加しています

地区の魅力

- 地域活動の課題を把握し、常に改善に取り組んでいる
- 地区内の歴史をカルタや催し等で次世代に継承している
- バイパスや国道があり、中心街も近く交通の便が良い
- 地区内に保健センターがあり、医療機関も多い
- 区画整理が進み、CCRC構想が進む等将来的にも住み良くなる

地区の課題

- 市内の中でも高齢化率が特に高い
- 担い手の高齢化が進む一方で、若い世代を担い手に巻き込めていない
- 若い世代が地域活動や行事に積極的に参加しようとせず、活動・行事への参加者の顔ぶれがいつも同じ

取り組むこと

- 若い世代が積極的に参加したい・手伝いたいと思える地域活動や行事を企画(若者を巻き込む地域づくり)
- 全世代における町ぐるみの交流を促進する

目指す地域の将来像

地域全体が“三世代家族”のような

年齢に関係なく、繋がり支え合える町に！

南部地区

地区のすがた

各町で実施するふれあいサロン。みんなで集まっておしゃべりなど交流の場に。

「春の祭典」では町対抗でゲームに臨みます。

南部地区社会福祉協議会では、平成18年に第1次地区福祉活動計画を策定し、第2次地区福祉活動計画を平成26年に策定し、「交流の促進」「見守りの推進」「担い手づくり」を活動の柱に、住民参加の福祉のまちづくりに取り組んできました。

地区の魅力

・福祉部会の設置による地区内団体間の協力体制
・地域福祉研修会の実施
・「ふれあいいきいきサロン」「ふれあい会食会」「見守り活動」を中心とした積極的な地域活動

地区の課題

・支え合い活動等の担い手の確保
・活動の継続性

取り組むこと

・福祉委員を募り、地域住民の「日常的な見守りと声掛け」を徹底する
・困りごとの早期発見と対応できる仕組みづくり

目指す地域の将来像

見守り活動をとおして「気づく」という意識を大切にし、お互い様の精神で「支え合う・助け合う」ことにつながり、その蓄積の延長が「暮らしづくり・まちづくり」に発展していくような地域を将来像として描いています。

上川淵地区

地区のすがた

上川淵では「交流」に力を入れています。ふれあい茶話会やサロンを通じて、地域の高齢者の交流や介護予防、健康や生活に役立つ情報提供を行ってきました。2018年6月より前橋赤十字病院が移転し、今後公共交通の整備が見込まれる一方、児童生徒の減少により小中学校の統廃合が予定されています。そのために、気軽に声を掛け合い、住民同士のつながりを深め、さりげなく見守り、支えあえる地域をめざします。

ふれあいの広場の福祉体験コーナーは、毎年多くの子どもたちが集まります。

毎月開催の子育てサロンは、季節のイベントもあり、多くの親子で盛り上がっています。

地区の魅力

・いちごやトマト、古代米など地域の特産物が多い
・朝倉や広瀬の古墳や太々神楽や獅子舞・神楽回しなど地域の歴史や伝統を大切にする
・赤十字病院や協立病院など医療機関が充実

地区の課題

・若者世代の減少と高齢化の加速
・地域の歴史や伝統の継承
・高齢者の外出問題

取り組むこと

・地域の歴史や文化を若い人に伝承
・地域支援者の掘り起こし
・見守り活動を通じた災害時の支えあい
・サロンやふれあい茶話会などの交流の場を増やす

目指す地域の将来像

・若い世代に地域の歴史や文化を伝承する地域
・気軽に声を掛け合い、見守り、支えあえる地域
・世代間交流のできる地域
・地域の企業と一緒に協力できるイベントの開催

下川淵地区

地区のすがた

下川淵地区はサロン活動や介護予防の活動が充実しています。子どもから高齢者まで多くの住民が地域活動に積極的に参加し、住民同士のつながりが強い地区です。今後は地域のつながりをさらに強め、健康を維持するとともに、子どもや高齢者をはじめ、支援を必要とする方をみんなで見守る地域づくりを推進していきます。

「下川淵カルタ」を通じて、下川淵地区の歴史や文化の伝承

文化祭では舞台発表、交流のつどい、作品展示、模擬店など各団体が日ごろの活動の成果を披露しています

地区の魅力

・住民の結束力が強い　・きめ細かい民生委員活動
・介護予防サポーターが市内で一番多い
・下川淵カルタを通じて子どものうちから地区の歴史を学ぶ

地区の課題

・生産人口の減少と高齢化の加速
・大型車両の交通量増加
・人や車の往来増加
・地区内の緊急避難所の設置
・浸水想定区域

取り組むこと

・日頃から顔が見える関係づくり
・地域防災力の向上
①見守り活動を全町で実施
②自主防災と支えあいの連携避難
③全町で地図に要支援者を入力
④若者も含めた防災、見守りの意識づくりの構築

目指す地域の将来像

～つながろう下川淵～

・人が集い交流するまち　・安心、安全なまち　・住みよい福祉のまち
・心豊かなまち　・歴史と文化を大切にするまち　・みんなで支えあうまち

芳賀地区

地区のすがた

芳賀地区では、福祉や文化活動を中心とした交流が盛んで、地区内の五代町出身、童謡「海」「チューリップ」を作曲した井上武士先生が有名で、大峯神社の太太神楽、八木節が伝統文化として継承されている。また、配食サービスや買い物支援の取り組みも、市内でも先進的に進み、ボランティアを中心とした支え合いの仕組みができています。今後もつながりを生かした助け合いの仕組みづくりを推進していきます。

ふれあいの広場では多くの中学生ボランティアが活躍

企業の協力で移動販売を実施

地区の魅力

・隣近所のつながりがある
・福祉、文化活動を中心とした交流が盛んである
・ボランティアを中心とした配食サービス、買い物支援が定着

地区の課題

・高齢化率が高い
・公共交通が不便
・傾斜地
・商業施設がない
・子ども登下校時の見守り
・空き家が増えている

取り組むこと

・見守り活動の推進
・健康づくりの推進
・全世代で支え合う仕組みづくり
・空き家の活用
・地域内の学校や施設との連携
・市と連携した生活交通の整備

目指す地域の将来像

全世代が住みよい芳賀地区を目指して
～つながりを生かした助け合いの仕組みづくり～

桂萱地区

地区のすがた

桂萱地区は福祉施設や教育機関が充実した土地柄を活かし、これらの機関と連携した取り組みが実施されています。サロンとの連携をはじめ、「のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場」では、福祉施設の利用者によるライブ演奏や学生による大道芸などで盛り上がります。
今後も各機関との連携をより強化することで、地域の交流や繋がりを深めていきたいと考えています。

毎年実施している担い手研修ではグループごとに情報交換を行っています。

町ごとに実施しているふれあいいきいきサロンやふれあい会食会は、皆様の交流の場となっています。

地区の魅力

- ほとんどの自治会にサロンがあり、毎年担い手研修を実施している
- 世代間交流の場が盛んで、子育て世帯へのサポートが充実している
- 自主学習グループ活動が活発である

地区の課題

- 地域活動の担い手不足
- 地域活動への新規参加者の不足
- ひとり暮らし高齢者世帯の増加

取り組むこと

- 地域活動の担い手発掘と育成
- サロン、自主学習グループ、福祉施設等の連携強化による地域活動の拡大
- 世代間交流活動の更なる充実と魅力ある事業の実施
- 高齢者を対象とした災害時や日常の見守り活動の展開と困りごと相談体制の拡充

目指す地域の将来像

地域全体で「すみよい桂萱」づくりを目指す

東地区

地区のすがた

健康増進と地域交流の場

ふれあいの広場など、中学生も積極的に地域行事に参加しています。

東地区では、各町の活動状況と今後の地域づくりについて、町ごとにグループに分かれて、地域の課題や取り組みなどを共有しました。「誰もが住みよい地域を目指す」ために各自治会のいまある社会資源を確認し、活動状況を知ることで自分たちの町には何が必要なのかを話し合いました。

地区の魅力

・群馬の２つの宝物「赤城山」と「利根川」が一緒に見られる利根西地域の魅力
・市内23地区の中で一番高齢化率が低く、若い世代の人口も増加

地区の課題

・災害時における避難方法(手段)の確保
・見守り活動への取り組み強化
・埋もれている支援ニーズの把握

取り組むこと

・町の公民館の活用方法として、居場所作り（サロンのようなもの）を町内活動を通じて推進していきたい
・人と人とのつながりを深めて、支え合い・助け合いを充実させていきたい

目指す地域の将来像

居心地よく、住みよい地域にしていくには、「人と人のつながり」が何より重要であり、それを東地区の良さとして将来につなげていきたい。

元総社地区

地区のすがた

気軽に楽しく過ごせる
みんなの居場所

町ごとに実施したアンケートの結果を基に意見交換

元総社地区では全町でサロンが立ち上がりました。住民同士の交流を深め、顔の見える関係から、少しずつ見守り活動へ広がっています。今後は「交流を通じた健康づくり活動」を地区として展開していきます。

地区の魅力

・総社神社など、豊かな歴史を物語る遺産
・染谷川、牛池川、利根川をはじめとした豊かな自然

地区の課題

・健康に不安を感じている住民が多い
・地区アンケート結果で挙がった地域課題の解決
　サロン参加者の減少、地域住民のつながりの希薄化、
　地域活動に参加しない人、担い手の減少、
　買い物に行く場所が無い、地域資源の発掘と活用

取り組むこと

・支え合いに興味・関心がある住民の協力を仰ぎ、「交流を通じた健康づくり」を目指す。

目指す地域の将来像

・「地域で出来ること」を住民同士が助け合ったり応援し合いながら、地域全体で盛り上がっている。
・ふれあいサロンを基盤として近所のつながりを深め、見守り活動を広げ、自然な支え合い活動を推進し、温かい地域性を大事にしていきたい。

総社地区

地区のすがた

地域に根付く文化や、住民同士の交流を大切にしています。

子どもから大人まで参加する三世代交流に取り組んでいます。

地域住民が「より身近な単位での居場所事業の必要性」を感じ、地域にある市民研修所を活用した居場所を立ち上げました。「お茶を飲みながら昔話をしたり、誰かの相談に乗ったりして、お互いに支え合う」そんな住民のつながりを深めるための居場所活動を地区内に広げていきます。

地区の魅力

- 「秋元歴史まつり」をはじめとした歴史と文化を大切にし、文化財保護に取り組んでいる。
- 地域住民の交流を大切にしている。

地区の課題

- 地区内にスーパーマーケットが一軒も無い
- 持続可能なマンパワーの不足
- JR群馬総社駅から上毛大橋間の交通事情
- 個人病院の減少

取り組むこと

- 地域住民主体の交流の居場所を多世代と連携しながら広げ、見守り活動にもつなげていく
- 日頃からの交流によりつながりを深め、さらには支え合える関係をつくる

目指す地域の将来像

地域の交流や文化の伝承に力を入れ、
安全安心な住みよいまちづくりを目指していきたい。

南橘地区

地区のすがた

南橘地区では、町ごとに防犯パトロール隊が結成され、見守り活動を行っています。おそろいの黄色いジャンパーが目印です。パトロールしながら、ちょっと声かけ。ひとり暮らしの方も地域の方が見守ってくれているので安心です。
ほたる自生地がある町や商業施設が並ぶ町、14町の状況はそれぞれですが、活力ある地区です。また、ほとんどの町では午前中は自治会館が開かれており、町の身近な相談窓口となっています。

自然環境を活かした「橘山の整備活動」「赤城白川清掃活動」に小中学生のボランティアが参加。

サロンでのクリスマス会。自治会役員と民生委員でオカリナ演奏。楽しいひとときとなりました。

地区の魅力

・ふれあいサロン、見守り活動 が全町で定着
・防犯パトロールが毎日実施され、安心安全な地域
・小中学生が積極的にボランティアへ参加
・「のびゆくこどものつどい」「ろばたの集い」による世代間交流

地区の課題

・サロン参加者の充実（新参加者への呼びかけ）
・交通弱者への対応
（マイタク利用の普及、地域交通システムの検討）
・大規模水害への対応

取り組むこと

・ふれあいサロンの開催
高齢者(町ごと)、子育て(地域)
・安全安心パトロールの充実
・災害時の支援体制づくり
・あいさつ、声かけの充実
・地域行事の充実

目指す地域の将来像

・支え合いの充実（「助けて」「手伝って」の言いやすい地域を目指して）
・自然環境を生かした活動の拡充　　・思いやり、助け合いあふれる地域に
地域における支え合いや自主・自立性の強化を図り、誰もが安全に安心して暮らせる地域づくり

清里地区

地区のすがた

清里地区は農業が盛んな地域で、中でも枝豆と玉ねぎは地域の特産です。その特産を使った「きよさと焼」は地区の住民に親しまれ、地区の催しにも度々登場します。清里小学校の児童は、毎年地域の住民と一緒に「きよさと焼」づくりを体験。子どもたちにも受け継がれていく、住民みんなが大切にしている文化です。

毎年開催される個人宅でのオープンガーデン。色とりどりの花々が町を華やかに。

ウォーキングしながら地区内の史跡めぐり。子どもたちが披露する、伝統の野良犬獅子舞。清里は歴史ある町です。

地区の魅力

- 農業が盛んである（枝豆・玉ねぎ）
- 特産の枝豆を使ったきよさと焼
- 花を通じた交流（オープンガーデンなど）
- 地区内福祉施設との密接な連携
- コンパクトな地域ならではのつながり

地区の課題

- 地域の集まりに参加する人の固定化
- 活動に携わる人の固定化
- 担い手の不足
- 高齢者の交通手段

取り組むこと

テーマ
「健康寿命を延ばそう」

- 行事を通じた健康づくり
- 交流の場の充実
- サロン活動の活性化
- 見守りのしくみづくり
- あいさつ、声かけの充実
- 地域行事の継続と充実

目指す地域の将来像

- 健康寿命の延伸・世代間交流の充実・助け合いのあるまち
- 安心安全に暮らせるまち・住民主体のまちづくり

永明地区

地区のすがた

永明地区は商業施設が立ち並び、大きく都市化している町もあれば、地縁のつながりが深く、ご近所同士の見守りで「町内力」を高めている町もあります。サロンのお誘いにチラシを持って訪問。ちょっとしたきっかけが見守りにもつながります。

サロンは毎回にぎやかに開催されます。アコーディオンにあわせてみんなで合唱。

障害をお持ちの方を招待して毎年ふれあい交流会を実施。令和元年度は前橋国際大学の聖歌隊のみなさんが来てくれました。

地区の魅力

・旧来の地縁関係が深く残っている町や、スーパーや娯楽施設が並び、大きく都市化している町もある
・町の特色はさまざま、それでもすべての町が協力し、地区の行事や活動を盛り上げている

地区の課題

・高齢者の交通手段
・担い手の確保
・町ごとに大きく異なる特色

取り組むこと

・サロンの全町設置
・世代間交流の充実
・ご近所同士の見守り
・各町の特色を活かした、支え合いのしくみづくり

目指す地域の将来像

・交流の場を充実、ご近所同士でさりげない見守り
・各町の特色を活かした支え合いのしくみができ、安心して暮らせる永明地区を目指す

城南地区

地区のすがた

城南地区では、地域づくり協議会の活動が活発です。安心安全部会では、近くに商店がない、遠くのスーパーまで買物に行けない買物弱者のために“フレッシー号”の定期便を地区内10町で運行、その利用者は述べ３万人を越える見込みです。そこでは買物を楽しむばかりではなく、地域の人々の笑い声がこだまする交流の場となっています。

地域内の三世代交流事業。地域のおじいちゃんやおばあちゃんに教わって、子どもたちが「うどん作り」や「ミニ門松作り」に挑戦しました。

各町のサロン活動が活発です。「体操にゲーム脳トレ歌声とサロン続けて元気な城南」です。

地区の魅力

・大室古墳群や各町の伝統芸能が多い、歴史ある地域
・「地域づくり協議会」において、「三世代交流事業」「移動販売車運行」「地域公共交通対策」など様々な取り組みが活発に行われている
・城南ボランティア等、各福祉団体の活動が活発

地区の課題

・一人暮らし高齢者が増え、買物弱者・交通弱者に対する支援が必要
・地域住民の絆を深める「サロン活動」の充実と継続
・福祉部会委員、民生児童委員、ボランティア等の情報共有と連携の強化

取り組むこと

・自治会、地域づくり協議会、城南民児協、城南ボランティア、地区社協の連携強化（情報交換と人的交流）
・「ふれあい・いきいきサロン」を各町で立ち上げ、活動充実と担い手の研修に取り組む
・住民への地域福祉啓蒙活動の充実（「福祉のつどい」等のイベントの開催）
・「地域福祉コーディネーター」の人材養成と各町への配置

目指す地域の将来像

「笑って、歌って、深い絆の城南地区」

各町のサロン活動が活発に行われ、互助・共助・交助を推し進めるとともに、「地域福祉コーディネーター」の人材を養成し、きめ細かな見守り・助け合い・支え合いが行き届く地域を目指す。

大胡地区

地区のすがた

各町で福祉座談会を開催

ふれあい会食会の様子

大胡地区では、各町のふれあい福祉委員が「ふれあい・いきいきサロン」や「ピンシャン元気体操」など地域の福祉活動について話し合いながら取り組んでいます。
また地区社協も、ふれあいの広場、ふれあい会食会、サロンリーダー研修会、障がい児者親子バス旅行、ふれあいのまちづくり研修会など幅広く活動しています。

地区の魅力

・自治会ごとにふれあい福祉委員会を設置し、様々な福祉活動に取り組んでいる
・大胡地区社会福祉協議会を中心に、幅広い福祉活動に取り組んでいる

地区の課題

・地区全体で核家族化、高齢化が進んでいる
・坂が多く、買い物や通院に不便な地域が多い

取り組むこと

・ふれあい福祉委員会を中心に地域のつながりを大切にする活動を推進する
・防災や防犯に備えるまちづくりを進めていく
・サロンを基盤とした見守り活動、支え合い活動を推進する

目指す地域の将来像

住民が互いに支え合い、誰もが安心して楽しく幸せに暮らせる活力ある地域を目指す

宮城地区

地区のすがた

生活支援体制整備事業の一環で、自治会公認のもと新たな交流の場を有志が立ち上げました。

“柏倉町お喋り隊「健康寿命を伸ばす会」”

町内に住む高齢者が気軽に集まり、お喋りや軽い運動をする交流の場。交流や運動を継続することで、健康寿命を伸ばすことを目的としています。いずれは、お喋りの中から困りごとを拾い上げ、支え合うような関係が生まれる場になれば…と考えています。

町内に住む高齢者が集まり、交流と体操で体力と健康の維持増進を図ります。

宮城地区社協が主催。宮城小４年生との交流会も開催しています。

地区の魅力

・地縁が太く、自治会活動のまとまりが強い
・農村地帯で元気なお年寄りが多く、野菜作りが盛んである

地区の課題

・人口が減少し、高齢者世帯や独居高齢者が増えている
・子どもの数が年々少なくなっている
・地形の高低差があり、高齢者は徒歩移動が困難

取り組むこと

・世代間交流等を充実させ、地域の繋がりを強化する
・高齢者の健康寿命を引き上げる
・地縁を生かし、地域でボランティアを育成する
・既存団体、地区代表者のOB等と協力し、要支援者を支える仕組みを作る

目指す地域の将来像

・地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域にします。
・さらには元気な高齢者も一緒に、支援を必要とする高齢者を支えられる地域にします。

粕川地区

地区のすがた

赤城山南面のほぼ中央、雄大な赤城山を背景に南北に長く広がり中央部を「粕川」が流れています。近年は北関東自動車道の開通により首都圏及び近県からのアクセスも充実し企業が進出、準農村地帯から都市近郊型農村へと移り変わってきている地区です。

地区の魅力

・近隣同士が助け合う意識が強い
・民生児童委員の要支援者に寄り添った活動
・ボランティア会や介護予防サポーターの活動が活発

地区の課題

・災害への備えが十分でない
・地域内の要支援者の状況がよくわからない
・買い物するのが不便

取り組むこと

・日ごろから挨拶や声掛けをして、顔が見える関係づくり

・災害時に備え、支援や避難の方法の話し合い、避難ルートの確認をする

・助け合い活動を全地区で取り組む

目指す地域の将来像

みんなで力を合わせ、支え合えるまち

富士見地区

地区のすがた

富士見地区は、地域のつながりが深く、様々な団体・ボランティアが携わり、様々な活動を行っています。

“「交流・見守り・支え合い」活動 困ったときはお互いさま”

地域の皆さんと一緒に、４つの小学校区別に説明会を開いたり、アンケートに協力していただいたり、身近な地域でお互いに支えあえる体制づくりを進めています。

“給食サービスで届ける笑顔”

ボランティアさんが作ったお弁当を、ボランティアさんの手で、笑顔で一声かけながらお届けしています。

“「友愛訪問」でつながる心”

地域のボランティアさん手作りのプレゼントを、民生委員さんが年末の訪問時に配布しています。

地区の魅力

・自然が豊かである
・地域のつながりが強い
・各種地縁団体が、地域を良くしようと一生懸命に活動をしている

地区の課題

・核家族化、高齢化が進んでいる
・坂道が多く、車がないと移動が困難である
・自治会長等、１年交代の役員が多い

取り組むこと

・笑顔いっぱいの地域のつながりづくりで、地域を活性化

・地域の互助を高め、見守りや支えあい活動の充実

・高齢になってもいつまでも元気に、介護予防と健康づくり

目指す地域の将来像

・さらに地域のつながりを深め、見守り・支え合い体制の充実を目指す。
・介護予防活動による地域づくりや楽しみながら取り組む健康維持を進める。
・住民一人ひとりの支え合いにより、安心して暮らせるまちづくりを目指す。